



### 第44回金魚品評会受賞者(敬称略)

#### 熊本県賞

古賀 博(大牟田市)

#### 熊本県議会賞

宮路 万里子(下東区)

#### 日本観賞魚振興事業協同組合賞

大田黒 正雄(熊本市)

#### 長洲町養魚組合賞

巻木 健一(鹿児島県南さつま市)

#### 長洲町長賞・長洲町議会議長賞

鷹取 正幸(福岡県北九州市)

#### 長洲町商工会会長賞

寺本 厚子(下東区)

#### 長洲町観光協会会長賞

中島 英喜(腹赤区)



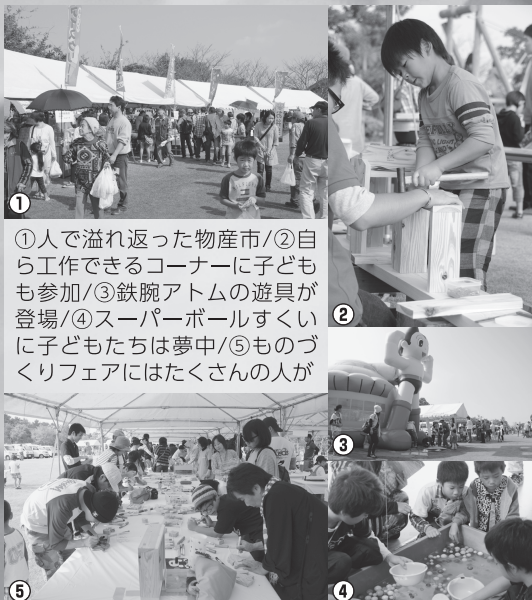
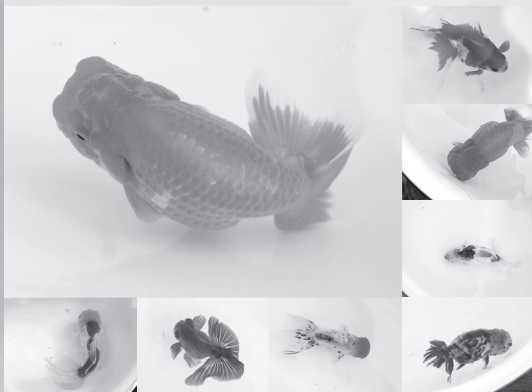
第44回金魚品評会の様子。審査員は真剣な眼差しで一匹一匹に向かう。

### 金魚と鯉の郷広場フォトレポート①

## 第25回

# 金魚と鯉の郷まつり

金魚の館リニューアル後初となる「第25回金魚と鯉の郷まつり」は10月28日、金魚と鯉の郷広場で開かれました。会場では▶第44回金魚品評会▶ペンギンタッチング▶ものづくりフェアなど、さまざまなイベントが行われ、大いににぎわいを見せた一日を写真で振り返ります。



①人で溢れ返った物産市/②自ら工作できるコーナーに子どもも参加/③鉄腕アトムの遊具が登場/④スーパーボールすくいに子どもたちは夢中/⑤ものづくりフェアにはたくさんの方が



⑥盛況だったストラップ作成コーナー/⑦軽トラ市には早朝からたくさんの方が/⑧ふれきんちゃん和大村市「おむらんちゃん」が初共演/⑨園児たちによる人間ピラミッド/⑩金魚品評会の周りでは多くの方が審査を見守った/⑪初めてのペンギンタッチングに大興奮





①幼稚園・保育所の園児たちが元気よくステージで発表/②エコキャップ推進協議会矢部副事務局長による講演/③優しい歌声で会場を魅了した川原一紗さん/④さまざまな実験で会場を盛り上げた「らんま先生」/⑤多くの来場者で熱気に包まれた館内



金魚と鯉の郷広場フォトレポート②

キャンドルで彩られた

幻想的な夜のひととき

～キャンドルナイト in ながす～



⑥LEDの光が灯るランプシェードがシンボルタワーを包む/⑦会場をキャンドルが幻想的に照らす/⑧キャンドルの温かい光に手を差し伸べる子どもたち/⑨家族でキャンドルを眺める風景も多く見られた/⑩金魚をかたどったランタン/⑪館入口では幻想的に光るシンボルタワーが来場者をお出迎え/⑫子どもたちもキャンドルに大喜び/⑬広場の中にはテーブルを設置しキャンドルを見ながら休憩できるスペースを設置/⑭シンボルタワーの周りには子どもから大人まで多くの人でにぎわいを見せた/⑮通路以外の木の枝のキャンドルも会場を照らす/⑯広場に設置したハート型のキャンドル/⑰キャンドルの灯りに興味津々

電気を消してエコを考える「キャンドルナイトinながす」は11月22日、金魚と鯉の郷広場で初開催されました。このイベントは「できるコトから楽しんで始めよう」をテーマに、ペットボトルの中に灯された約2000個のキャンドルの中で行うさまざまなイベントを通じて、エコについて一人一人が考え行動するきっかけづくりを目的に行われているものです。同日は、町内外から約3000人が来場。キャンドルで彩られた普段とは違う空間を楽しみました。

金魚の館では環境に関するさまざまなイベントを開催。点灯式では高さ約4メートルのシンボルタワーにキャンドルが灯り、キャンドルナイトをより一層引き立たせました。講演ではエコキャップ推進協議会の矢部信司副事務局長が「ペットボトルキャップで救える命がある」とメッセージを伝えました。ステージイベントでは、町内幼稚園、保育所の園児が合唱や遊技を披露。環境パフォーマンスの「らんま先生」は身近な現象や環境問題を楽しい実験を通じて伝え、来場者は体験しながら環境を学ぶ機会となりました。川原一紗さんは自然、愛、繋がりを歌にして来場者一人一人に語りかけるように優しく歌い上げ、会場にはゆったりとした時間が流れていました。

